

NPO 法人流山市国際交流協会



NIFANEWS

発行: NPO 法人 流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎ : 04-7128-6007
Email:nifa-support@bz04.plala.or.jp
http/nifa-home.sakura.ne.jp/

2年後に向けオランダを迎える動きが街中に出始めています！

開催まで2年を切った2020年東京オリンピック、パラリンピック。準備の進み具合に関する報道が増えてきました。千葉県はオランダの事前合宿地に指定され、流山市はバレーボール、ハンドボール、卓球、車いすバスケットボールの合宿候補地となっていることから、その受け入れに向けた準備が始まりつつあります。2年後に向けた「啓蟄」の節季といったところでしょうか。この体動にNIFAも一役買っているのです。

オランダを身近に～市内の小学6年生向けに特別教室開講～

オランダチームを迎え入れるホストシティとして、その国のことを知り、理解することは大切、という訳で‘オランダ交流事業’通称「オランダ教室」を始めました。昨年度から市内全16の小学校6年生を対象にオランダを紹介する特別授業を開催しています。流山市からNIFAに委託された事業です。

講師は市内在住のオランダ人、ニフユス・ヨスさんです。今年も5月23日から開講、7月まで順次各小学校を回りました。「オランダ教室」では地理、文化、スポーツ、習慣、食べ物、日本との歴史的なつながりなど多岐に亘る内容を映像で紹介、時には「Ja(Yes)」、「Nee(No)」のカードでクイズに答えたり、簡単なオランダ語を練習するなど参加型の授業で生徒を惹きつけます。



Ja? Nee?



「日本のお祭りのような行事はありますか?」「宗教は何ですか?」「どんな技術が得意?」「独立したのはいつ?」「学校には何を持っていきますか?」「何時間くらい学校にいるの?」「夏休みはどのくらい長い?」等々Q&Aは時間いっぱい続きます。或る学校では授業の始めに、生徒全員声を合わせ「Goede middag(good afternoon)」とあいさつされる場面あり、ヨスさんもびっくり、そして感激。生徒も教室を去る時に「Dank u」「Tot ziens(Good bye)」と言いながらヨスさんと握手を交わします。毎回、この温もりが、世界に目を向けるきっかけになることを願いつつ学校を後にしています。

今年からオランダ教室が開催される小学校では、その日の給食に「エルデンスープ」(オランダの伝統的な豆スープ)が出され、子供たちは味覚でもオランダを経験しています。ヨスさんも給食室前の匂いですぐ「エルデンスープ」とわかり、とても懐かしそう。

今年5月の開講日にNHKや千葉テレビ、千葉日報の取材がありました。

ヨスさんは流山市の民間オランダ大使です。

食を通してオランダが子供たちに身近になるよう
～NIFA が栄養士・調理員研修会をサポート～

7 月 31 日(火)の午後、流山北小学校に市内の小中学校で給食に携わる方が集まりました。恒例の研修会、今年は趣を変えてオランダ料理の講習会です。

講師はヴァン・ラムーン、ステフ (Van Lamoen, Stef) さん、オランダ出身でおおたかの森のイタリアンレストラン “Barn and forest 148 café” でシェフをされています。

この日の講習は 3 品。オランダのトマトスープ (酸味の効いたトマトスープに小さなミートボールを入れたさっぱり味のスープ) と人参とジャガイモの “スタンポット” (ポテト、人参、玉ねぎをマッシュしサラダ風にしたものにスモークソーセージを盛りつけたボリューム感のある料理)、このスタンポットに添えるアップルソースです。

講習に参加された皆様は、ご自身でオランダの味覚を味わい、給食に思いを馳せている様子。子供たちにオランダを身近に感じさせるレパートリーが増えたようです。ステフさんも調理卓を回りながら丁寧に指導をしていました。

この講習会は流山市教育委員会の主催ですが、NIFA が仲立ちをして、会員になられたステフさんを講師として紹介しました。ここでも食を通してオランダへの関心を高める動きの一助になっています。



キッコーマンアリーナ職員向けの
「オランダ教室」と「語学研修」 (予告)

9 月 29 日から始まるバレーボールの「2018 女子世界選手権」に向け、オランダチームが 9 月 23 日から 5 日間の予定でキッコーマンアリーナで合宿練習を行います。

アリーナの職員の皆様は今からその受け入れ準備を進めていますが、NIFA は「オランダ教室」と「語学研修」でお手伝いします。職員の方向けにオランダの地理、文化、スポーツ、歴史等総合的な内容を紹介し、簡単なオランダ語と英会話の練習をします。

講師はニフユス・ヨスさん。9 月 18 日 (火) に実施します。

オランダ料理教室開催 (予告)

食文化は外国を知る手がかりの一つ。オランダの料理教室を開催します。

◇開催日と会場◇11 月 13 日及び 27 日の 2 回です。
(メニューは同じ)

◇講師◇ヴァン・ラムーン、ステフ (Van Lamoen, Stef) さん。

この事業は「国際交流事業」の一環として流山市から委託され、NIFA で準備を進めています。オランダ料理は元来質実優先、野菜、乳製品、魚/肉など恵み豊かな素材を調理し、そのままワンプレートで食する習慣のようですが、ステフさんがどのように教えて下さるのか楽しみです。別途チラシ等でご案内します。

「やさしいオランダ語」

～オランダ語の発音～

★「oe」: o の口をして「エ」と発音、ドイツ語の「ö」(オーウムラウト)と同じ

★「d」: 「t」と同じ子音
語尾の「g」: 上顎をこするよ
うな感じで「ハ」という、ドイツ語の「ch」と同じ発音

★「ch」: 語尾の「g」と同じ発音

【日本語】	【英語】	【オランダ語】	【ドイツ語】
はい	Yes	Ja	Ja
いいえ	No	Nee	Nein
おはよう	Good morning	Goede morgen	Guten morgen
こんにちは	Good afternoon	Goede middag	Guten tag
おやすみなさい	Good night	Goede nacht	Gute nacht
やあ	Hallo	Hallo	Hallo
さようなら	Good bye	Tot ziens	Auf wiedersehen
ありがとう	Thank you	Dank u	Danke schön
初めまして	How do you do	Hoe goet het	Schön dich zu treffen
お目にかかれてうれしい	Nice to see you	Leuk je te zien	dich zu sehen Ich freue mich,
ようこそ	Welcome	welkom	Wilkommen

流山の魅力を求めて～流山 SGG クラブの体験研修会案内 (予告) ～

「流山 SGG クラブ」(Nagareyama Systematized Goodwill Guide) という団体をご存じでしょうか? 外国の方に流山市内や東京都内をボランティアで案内している団体です。3 月 1 日発行の「NIFA NEWS」(S/N207 号) で事務局の當麻多才治さん (外国語支援事業部サポートメンバー) がこの団体を紹介されています。NIFA の会員の方もいらっしゃいます。

この「流山 SGG クラブ」が“体験研修会”を開催します。「流山を英語でガイドしてみよう!」というテーマで市内の魅力さをさぐり、観光ガイドに必要な表現、おもてなしの方法などを研修します。研修会は 9 月と 11 月に開催、本町界隈の古い街並みや運河沿いを歩きながら、講師の根岸正氏 (全国通訳案内士) と共にガイドを実際に体験します。この研修会には流山市、流山市観光協会と共に NIFA も後援します。

なお今回の体験研修会への関心は高く、予定の募集人員を超えました。次回の企画に期待します。

<https://nagareyamassgg.org/ja/>



インタビュー NIFAの人

ニフェュス・ヨスさん(会員・「オランダ教室」講師)

Q. 流山にはどのくらいお住まいですか？

A. 1992年に流山に来ました。そして6年間暮らした後一旦オランダに戻り、15年後に再び流山に来ました。今はここに4年暮らしています。

Q. 流山にはどうして住むようになったのですか？

A. 私の友人であり東京理科大の教授(日本人)が紹介してくれました。その友人は私の空手の先生でもあり、最初は妻の実家の小田原に住みそこから野田まで通って習っていたのですが遠すぎるのですぐ流山に移りました。

Q. 空手に興味をお持ちだったのですか？

A. はい、でもスポーツとしてではなく、日本文化を知る一つの見方として習ったのです。オランダでは空手は人気はありません。

Q. 併せて10年暮らす中で流山に対してどのような印象をお持ちですか？

A. 日本全体と同じですが総じて清潔、安全、人々は好意的、礼儀正しく、親切といった印象です。町は変わりました。流山に来た頃は畑もたくさんありました。最近では都市化が進み、特につくばTXができて変わりました。

Q. ヨスさんは「オランダ教室」で子供たちに接していますが、彼らにどのような印象をお持ちですか？

A. みんなこのプロジェクトに興味をもって接してくれています。オランダの子供たちとの違いはありません。子供はみな同じ、好奇心があり、活発でよく走り回り、なんでも知りたがりです。多少違うのはしつけです。日本の子供はしつけがいいけれどオランダの子供は個人でみな違います。日本では行儀がいいけれど、オランダの子はみんなワイワイガヤガヤしています。

Q. オランダ人の国民性はどのように表せますか？

A. 難しいですね。パイオニア精神が旺盛、貿易をしたり、未知のところへ出かけそのコミュニティの人達とつながりを持つことに関心がある、といったところです。

Q. 私が接したオランダの方にも同じ印象を持ちます。

A. そうインターナショナル指向でフレキシブル、物の見方が柔軟、違う見方を理解しようとするところはある

ます。日本は保守的と感じるところはありますが、そこはオランダ人と違います。

Q. ところでオランダの人気のスポーツは？

A. 総じてスポーツ好きですが、サッカーと冬はスケートです。子供は皆サッカーをします。雪は降らないのでスキーはやりません。野球はマイナースポーツ、ワールドベースボール(WBC)でオランダチームも参加しますが、実際はカリブ海沿岸地域の人で、彼らはオランダ語も話しません。

Q. ヨスさんは武道やサッカーをやりませんか？

A. いいえ武道はやらず、サッカーは見て楽しめます。

Q. どちらの観光スポットがお勧めですか？

A. アムステルダムの古い町並み、運河はお勧め、春のチューリップは見事、ベストシーズンです。冬は暗い日が多いのでお勧めしません。

Q. 食べ物はどうですか？

A. 味はよいのですが、大変シンプルです。

オランダ料理のレストランも東京にはないようです。オランダでも食べに行くのはフランス料理などのレストランです。

Q. お菓子は？

A. クッキーやビスケットのようなお菓子はあります。昔から家庭で作られたもので子供たちはそれを食べています。

Q. 芸術の分野は如何ですか？

A. 絵画では例えばレンブラント、ゴッホくらい、クラシック音楽ではアムステルダムのオーケストラが有名ですが作曲家はいません。でも昔からの童謡はあり、子供たちは歌っています。

Q. 最後に、オランダから選手たちがやって来た時に何か私たちが心がけることがあれば教えてください。

A. 特にありません、オランダの選手だけではなく、ほかの人と会った時に挨拶をするだけで、積極的な驚きを感じるでしょう。他に気を配ることはありません。

♥オランダのお話しを色々聞かせていただきありがとうございました。(2018年7月9日インタビュー西山勝)



多様性に富むジャマイカとインドネシア ～国際交流サロン～ 世界を知ろう

6月17日(日) キューマンアリーナにて

今回はサシャ・リー・シールズ(Ms. Sasha Lee Seals)さん(ジャマイカ)とアッビゲリ・ウィナンティ(Ms. Abbigeri Winanti)さん(インドネシア)をお迎えし、お国を紹介してもらいました。お二人ともNIFAの会員。

ジャマイカは小国(千葉県の2倍)ですがアフリカ系、インド系、中国系他の人たちが一つに融合し造り上げた国。熱帯の豊かな観光資源とコーヒーのブルーマウンテンは私たちにもなじみのもの。それに音楽。かつて世界や日本でも大ヒットした『デー・オ(Day-O)』の掛け声で始まる「バナナボート」、この曲はジャマイカの労働歌。なんとサシャさんの音頭でみんな席から立ち、カリプソのリズムに乗って？踊りました。

インドネシアは7万もの島々からなる日本よりはるかに大きな熱帯の国。ジャワ島の影絵、衣装、民族楽器、カリマンタン島の猿類、バリ島のケチャ、スラウェジ島の葬式、伝統的家屋等々、地域独自の動植物、風俗・習慣、文化などが紹介されました。

サシャさんは料理が趣味。バナナを用いた‘プランテン’、珍しい‘アキ’という料理を用意して下さいました。アッビゲリさんはラマダン明けを祝うお菓子‘カステンブル’と‘ナスター’(パイナップルやチーズのクッキー)を用意してくださり、みんなで頂きながら「ジャマイカの人はどうして走るのが早い?」とか「インドネシアの人はどうやって意思疎通を図る?」などQ&Aを楽しみました。このイベントは6月のNIFAにすっかり定着したようです。



ワーハモの歌は懐かしの世界へ

6月3日(日)、梅雨前の抜けるような晴天の下、生涯学習センター主催の「セントラルパークフェスタ 2018」が開催されました。駐車、駐輪場はいっぱい、テント、ブースは大勢の人で大盛況。ここで活動をしている各団体がイベントを開催する中、NIFAから「ワールドハーモニー」が参加。会場にお越し頂いた皆様にオリジナルの雰囲気を感じていただけるよう、だれでもが知っている世界の歌を原語でお届けしました。演奏したのは小学生からそのおじいちゃん、おばあちゃん世代まで、幅広い世代の会員とその家族。歌い終えての拍手は、聴いて下さった観客の皆さまの温かな励まし。そして何よりも歌った皆様自身がとても楽しんでいただけた。因みに演奏したのは次の曲です。ヤムスタファ/アラビア語、ローレライ/ドイツ語、山の音楽家/ドイツ語、コンドルは飛んでいく/英語。



子どもとのふれあいが交流を深めました ～初めてのホームビジット体験～

中国、ベトナムからの留学生を受け入れて

松館史子さん(ホームステイ事業部)

初めての留学生(2人)受け入れは楽しみな反面、二人に楽しく過ごしてもらえるか前日から心配でもありました。

私には4歳と0歳の息子たちもおりましたので、初めて会う留学生に二人の反応もどう表れるか楽しみでした。うちに着くと、ドアをボタンで解錠したり、手をかざすと水が出たり止まったり、留学生は便利な機能に興味津津でした。4歳の長男は好きな電車のおもちゃや本を見せて仲良くなっていきました。また飼っているうさぎとも触れ合って、小動物が好きなことがわかり、最初は緊張していたのですがだんだん和んでいきました。おやつには、みんなで白玉団子を作りました。白玉あんみつにして、おいしくいただきました。0歳の次男も人見知りすることなく、タッチしたりだっこしてもらったりして仲良くなりました。留学生は二人とも日本のことも日本語もよく勉強していて、会話もはずみ、子供たちにもたくさん話しかけてくれました。最後はお寿司の話になったので、夕飯はお勧めのお寿司屋さんで一緒に食べることになりました。半日はあっという間でした。これからも、彼女たちと交信を続けていけたらいいなと思いました。



皆様から広範囲に及ぶ技能・スキルを 登録いただきました

6月初めに「技能・スキル等」登録のお願いをしたところ、20名の会員身の皆様から回答をお送り頂きました。(2018年7月24日現在)ご協力いただきました皆様に、この誌上にてお礼申し上げます。

技能・スキルの範囲も、日本語、外国語の通訳・翻訳、ワード、エクセル、パワーポイント、イラストレーターなどのPCスキル、ホームページやSNSなどのITスキル、会計、法務、イベント・事業の企画、趣味・技芸、武術など広範囲に及び、ホームステイ、ビジットの受け入れについても可能な回答をいただきました。

今後活動を進めるにあたり、個別に声をかけさせていただきます。なお引き続き登録を受け付けています。思い立ったら登録をお願いします。

皆様のたくさんの登録がNIFAをより元気にします。

◇NIFAには研修費補助制度があります

NIFAは、2017年4月1日から「研修補助規程」を設け運用しています。

この規程により、NIFAが事業を行う上で必要な技能、知識、資格を取得する費用の一部を補助します。対象はNIFAの会員の方です。

補助の対象と金額は次の通りです。

- ・ 研修受講料及び教材費：実費但し上限2万円
- ・ 研修会場までの交通費(最短距離)：実費但し上限1万5千円

昨年は、日本語講師の方の研修、多文化共生研修等に補助しましたが、予算に対しては21%弱の執行率に留まっています。ぜひ多くの会員の皆様がこの制度を利用されるよう、ご案内します。

申請は、各事業部長宛てに提出してください。

◇イベント企画グループ報告



1. グループの目的

(ア)NIFAが行っている各種イベントを一元的に企画・立案します。

(イ)今まで開催していた「フェスタ○○○○」とか「交流パーティー」「○○料理教室」「キッズ英語」「世界を知ろう」「市民まつり」などのイベントも開催の是非、実施の場合の内容まですべてを検討します。

2. メンバー

リーダー：小谷良美(副会長)

メンバー：現在10名程度の方が随時ミーティングに参加しています

3. 今までの会合で相談された内容

(ア)「交流パーティー2018」の開催12月12日(水)、中央公民館)

○今まで日本語講座事業部でこの時期に実施していた「お楽しみ会」を拡大し、会員の皆様の参加による「交流パーティー」とします。

○日本語を学んでいる外国人会員の方を交え、ポトラックススタイルで楽しく歓談できるよう準備中です。

(イ)「第40回流山市民まつり」への参加について

○11月4日(日)、キッコーマンアリーナ)

○今回は、来場者も含めた「参加型」イベントとし、仮装ファッションショーやフォトスポットの設置、仮装(コスプレ)イベントも予定されています。

○メインアリーナではステージパフォーマンスがありますが、市民活動団体は限定された数での参加となります。

○今までとは趣の異なる市民祭りなので、その中でどのようにNIFAの特色を出せるか出展も含め検討中です。

(7月27日現在)

◇東葛地域の国際交流協会も会合を開いています

我孫子市、柏市、野田市、流山市の国際交流協会は、「東葛地区国際交流協会連絡協議会」という長い名称の協議会を作り、年に数回会合を開いています。互いの情報交換にとどまらず、相互に協力しあうことを目的にしています。今年度はNIFAが幹事です。

5月20日の協議会では「外国人向けの無料相談会の状況」「外国人会員の登録状況と増やすための活動」「外国語講座の運営方法」「日本語講師養成講座の開催と運営方法」等々それぞれの報告のあと質疑を重ねました。

この3月の会合では、外国語講座の受講希望者を、それぞれの定員の範囲内で互いに紹介し合うことを申し合わせています。

✿近未来のNIFAは？

流山市は188千人が暮らす町になりました。(7月1日現在)つくばエクスプレス沿線を中心に都市化が進み、若い年代の人たちが多く移り住んでいます。この傾向は当分続きそうです。

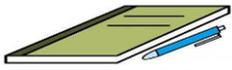
おおたかの森界限には商業施設が集中し、市の中核となりつつあります。

新川地域には新たな物流拠点が設けられ、運輸業の従事者の増加も予測されます。

柏の葉キャンパスとも隣接し、教育・研究に携わる人たちとの交流も今まで以上に期待されます。

2年後のオリンピック、パラリンピックの頃には観光に訪れる外国人も増えることでしょう。

さてあなたは、その頃のNIFAをどのように想像しますか？



♪ 暮らしやすいコミュニティの一助に ♪

外国語支援事業部

災害に遭った時の備えについて、HP や冊子の一部を紹介しします。今回はスペイン語です。

★ Necesita agua y comida para 3 dias ★

Si un gran terremoto ocurre, tiene que procurarse con comida y agua.

Si tiene comida y agua para 3 dias, usted podra sobrevivir hasta que lleguen los socorristas 3 dias despues del terremoto, por eso, una persona necesita mas o menos 3 litros de agua por dia.

El agua y la comida guardada hay que renovarlas periodicamente.

Compruebe la fecha de vencimiento validez del producto.

★ 3日分の水と食料の備えを ★

大地震が来ると、飲料水も食料も得られないといった大変危機的な状況に陥ります。

3日分の水と食料があれば助かります。何故なら震災後3日以内には救急隊があなたの所に到着するから。

だから1日に約3リットルの飲料水を準備しておく必要があります。

飲料水と食料の備蓄は定期的に入れ替える必要があります。

消費期限をきちんと確認しておきましょう。



会員の声

日本語の語順にまつわる話 ~私の海外体験から その2~

近広秀一郎さん(外国語講座事業部・英会話サロン講師)

日本語を英語に通訳していると、英語と日本語の語順の違いが気になる。英語のように主語のあとに動詞がくると、それだけでこの人が言いたいことは、肯定か、否定かわかるので、前段を聞くだけで、全体を推測できる。一方、日本語は主語が文頭にきても動詞が末尾にくることが多いので、最後まで聞かないと肯定か否定か分からないことがある(例: 私は長年、国会議員をしてきて、国民のために尽くしてきたのであり、私も事務所も含めて、過去、贈賄、買収などしたことはない)。

このような日本語を英語に直す時には全部聞き終わってから通訳しなければならないので時間がかかるし、最初の方に言われたことを忘れてしまうことがある。大部分の外国語は主語のあとに動詞が来る語順なので、日本語の方が例外的だと思う。日本語で動詞を末尾に付けるのは、なにか歴史的、言語的意味があるのだろうか。誰か教えていただきたい。

個人的には私は日本語でも(語順は違って)、英語のように主語、動詞、目的語、補語を明確に話すのが好きだ。そうは言っても我が家では固有名詞が出てこず“あれとって、それだそれだ、それよそれよ”など代名詞の多い会話でコト足りているのだが、それでもときどき思い出して、家内に対して“お前の話しはよくわからん、そもそも主語は何だ、動詞はどこだ、目的語は何だ、いつ、だれが、どこで、何のため、どうやって、5W1Hをはっきり言え”と問い詰めてしまうことがある。すると“長年一緒に住んでいるのだからそんなことは言わなくてもわかるでしょう、勘が悪い、あきれてものが言えない”と返ってくる。今では“文法の通じない相手だ、相手がわるい”とあきらめている。



編集後記: 2020 東京オリンピック、パラリンピックまで2年弱。その頃の流山は?

広報部長: 小谷良美、スタッフ: 西山勝、李明勲、谷口宏美、伊藤恵佑

★ 外国人からの翻訳、通訳の依頼が増えつつあります

この春から出生証明書等の翻訳(日本語から英語へ、英語から日本語へ)依頼が数件続けてありました。流山市役所から出生証明を得るための母国発行書類の和訳や、子供が母国の国籍を取得するために大使館へ提出書類の英訳などです。単なる翻訳にとどまらず、母国の大使館が受け取れる書式にし、且つその書類が真正であることを証明してもらうための手続きも含め、一つのパッケージとしてお世話もいたしました。この時の対応の評判が評判を呼んだようです。

また外国人男性の健康診断への同行通訳もお世話をしています。

「何かの時のNIFA」です。